

令和6年度 第5回

希望郷いわてモニターアンケート質問書

課題名	消防団員確保対策に関する意識調査
-----	------------------

令和6年8月

岩手県復興防災部消防安全課

※この質問書は控えとしてお持ちいただき、回答用紙に答えをお書きください。

# 消防団員確保対策に関する意識調査

岩手県復興防災部消防安全課

## ○ 調査の目的

消防団は、地域密着性・要員動員力・即時対応力といった特性を持ち、地域防災体制の中核を担っていますが、社会情勢の変化及び少子高齢化等により、消防団員数の減少傾向が続いています。

県ではこれまで、消防団員確保のための普及啓発活動を行うとともに、消防団員の処遇改善や特定の活動のみに参加する機能別団員制度の導入など、市町村へ働きかけを行うほか、「いわて消防団応援の店登録事業」や各種イベント等を活用し、若者・女性を中心に消防団員への加入促進を進めてきたところです。

本調査は、消防団に対する県民の皆様の認知度やイメージ等を調査し、今後、県が進める消防団員確保対策の参考としようとするものです。

お忙しい中大変恐縮ではございますが、御協力のほどよろしく願いいたします。

このアンケートでは、「消防団員ではない」方、「現役消防団員」の方、「過去に消防団員だった」方、それぞれ質問内容が異なります。

- ① 消防団員ではない方は、P2～P7に回答してください。(全22問)
  - ② 現役消防団員の方は、P8～P14に回答してください。(全28問)
  - ③ 過去に消防団員だった方は、P15～P16に回答してください。(全6問)
- ※ 回答用紙も、それぞれ該当するものをご使用ください。

ここから先は、消防団員ではない皆様へお聞きします。

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

- (1) 性別 ① 男性 ② 女性 ③ その他 ④ 答えたくない
- (2) 年齢 ① 20代以下 ② 30代 ③ 40代  
④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代以上
- (3) 職業 ① 会社経営・役員 ② 会社員 ③ 公務員  
④ 団体等職員 ⑤ 農林水産業 ⑥ パート・アルバイト  
⑦ 専業主婦（主夫） ⑧ 学生 ⑨ 無職  
⑩ その他（ ）
- (4) 居住地（市町村名： ）
- (5) 出身地（市町村名： ）

問2 あなたは「消防団」という組織をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 活動内容も含め、知っている  
② 名前だけは知っている

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

問3 あなたが消防団を知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 家族が消防団員  
② 友人・知人が消防団員  
③ テレビ・ラジオで知った  
④ SNS（X、TikTok、インスタグラムなど）を見て知った  
⑤ YouTube を見て知った  
⑥ 市町村の広報誌で知った  
⑦ 災害時に活動している姿を見て知った  
⑧ 訓練をしている姿を見て知った  
⑨ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問4 あなたは「消防団」に対してどのようなイメージを持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 火を消してくれる
- ② 災害時に助けてくれる
- ③ 訓練が多い
- ④ 飲み会が多い
- ⑤ 休日がなくなりそう
- ⑥ 家族に負担がかかりそう
- ⑦ 上下関係が大変そう、厳しそう
- ⑧ わからない
- ⑨ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問5 あなたは消防団の活動をどのように評価されますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 地域の安全に大きく貢献しており必要不可欠である
- ② 地域の安全にやや貢献しており必要である
- ③ 地域の安全にあまり貢献しておらず必要ない
- ④ わからない
- ⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問6 あなたは、大学生・短大生・専門学校生等や女性でも消防団員になれることを知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らない

問7 あなたは消防団員になりたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 非常にそう思う
- ② ややそう思う
- ③ あまり思わない
- ④ 全く思わない

問8 問7のように考える理由について、御記入ください。(自由記載)

問9 入団説明会や体験入団ができる機会があれば、参加したいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 参加したい
- ② 参加したくない

問10 あなたが消防団に望むことについて、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 消火活動
- ② 災害時の避難誘導
- ③ 火災予防活動
- ④ 住民に対する消防訓練、応急手当等の指導
- ⑤ 行方不明者の捜索
- ⑥ 地域行事での警備活動
- ⑦ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問11 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らない

「消防団応援の店」制度とは・・・

地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、消防団を応援していく制度です。県や一部の市町村で実施しています。

※ 県の制度における登録店舗数 : 415 店舗（令和6年7月1日現在）  
サービス内容の一例：ドリンク1杯無料、料金5%割引、粗品贈呈

問12 「消防団応援の店」で団員が受けられるサービス内容について、魅力を感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 非常に感じる
- ② やや感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 全く感じない

問 13 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

- ① 店頭に掲示するステッカーを目立つものにする。
- ② 店内の掲示で特典サービスの内容を紹介する。
- ③ 各店舗の自社ホームページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。
- ④ 店舗検索サイト内のページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。
- ⑤ 地域情報誌やSNSで告知する。
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 14 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。（自由記載）

問 15 市町村によっては、機能別団員、機能別分団の制度や、DXやドローンの最新技術を導入していますが、これについてどう考えますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 今後、導入を進めていくことが望ましいと思う。
- ② 積極的に導入していく必要性は少ないと思う。
- ③ 分からない

消防団では、特定の活動（火災予防・広報活動や大規模災害での出動など）のみに参加する消防団員（機能別団員）や、市町村等で定めている特定の役割、活動を実施する分団（機能別分団）の制度があります。

また、DX（デジタル）技術の活用（例：消防団向けアプリを活用した被害状況の情報共有、出動指令、活動報告）に向けた取組や、ドローンの活用（火災時の状況確認や災害時の救助者捜索）が進められています。

問 16 問 15 のほか、消防団員の負担軽減につながるような取組があれば、御記入ください。（自由記載）

問 17 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。

- ① 見たことがある（⇒見たことがあるものを全て選び、回答欄に記入してください。）
- ア テレビ・ラジオ
  - イ SNS（X、TikTok、インスタグラムなど）
  - ウ 広報誌
  - エ ポスター・リーフレット・のぼり
  - オ イベント等での広報
  - カ その他（具体的に回答用紙に記入してください）
- ② 見たことがない

問 18 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報媒体が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

- ① テレビ・ラジオ
- ② SNS（X、TikTok、インスタグラムなど）
- ③ 広報誌
- ④ ポスター・リーフレット・のぼり
- ⑤ イベント等での広報
- ⑥ タレントやキャラクターを活用した広報
- ⑦ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 19 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報内容が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

- ① 消防団の役割
- ② 報酬・手当や活動内容
- ③ 消防団へ入団するメリット
- ④ 現役団員の声（やりがい、使命感など）
- ⑤ 学生や女性団員の活動紹介
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 20 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 報酬・手当の増額など処遇を改善する。
- ② 活動内容や訓練回数を減らし、負担を軽くする。
- ③ 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする。

- ④ 消防団員を雇用する事業所等に優遇措置を行う。
- ⑤ 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める。
- ⑥ 消防団員が、新しい技術（DX、ドローン）を災害対応等で活用できるようにする。
- ⑦ 機能別団員や機能別分団など、団員のニーズに応じた活動形態を整備していく。

問 21 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。  
（自由記載）

問 22 消防団について御意見があれば、御記入ください。（自由記載）

質問は終わりです。御協力ありがとうございました。



ここから先は、現役消防団員の皆様へお聞きします。

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

- (1) 性別 ① 男性 ② 女性 ③ その他 ④ 答えたくない
- (2) 年齢 ① 20代以下 ② 30代 ③ 40代  
④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代以上
- (3) 職業 ① 会社経営・役員 ② 会社員 ③ 公務員  
④ 団体等職員 ⑤ 農林水産業 ⑥ パート・アルバイト  
⑦ 専業主婦（主夫） ⑧ 学生 ⑨ 無職  
⑩ その他（ ）
- (4) 居住地（市町村名： ）
- (5) 出身地（市町村名： ）

問2 あなたの階級と在職歴についてお聞かせください。

- (1) 階級 ① 団員 ② 班長 ③ 部長 ④ 副分団長  
⑤ 分団長 ⑥ 副団長 ⑦ 団長 ⑧ 機能別団員
- (2) 在職歴 ① 1年未満 ② 1年以上3年未満 ③ 3年以上5年未満  
④ 5年以上10年未満 ⑤ 10年以上20年未満  
⑥ 20年以上30年未満 ⑦ 30年以上

<消防団について、お伺いします>

問3 あなたが消防団へ入団したきっかけについて、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 家族や知人から勧誘されたから  
② 消防団員や元団員から勧誘されたから  
③ 家族が消防団員だったから  
④ 地域に貢献したいと思ったから  
⑤ 地域とのつながりを作りたかったから  
⑥ ポスターやチラシを見て消防団に興味を持ったから  
⑦ ラッパ隊に興味があったから  
⑧ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問4 あなたが消防団に入団する前に経験した事柄で、入団を後押ししたと考えられるものについて、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 防災訓練への参加又は自主防災組織への所属  
② 幼少年防火クラブ、又は女性防火クラブ（婦人防火クラブ）への所属  
③ 消防車・救急車を要請した経験

- ④ 学校教育・社会教育等での消防救急に係る学習
- ⑤ 大規模災害（東日本大震災等）で被災した経験
- ⑥ 特に当てはまるものはない
- ⑦ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問5 入団前後の消防団に対するイメージについて、当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(1) 入団前

- ① 良い
- ② どちらかといえば良い
- ③ どちらかといえば悪い
- ④ 悪い

(2) 入団後

- ① 良い
- ② どちらかといえば良い
- ③ どちらかといえば悪い
- ④ 悪い

問6 入団して良かったと感じることについて、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 地域を守っている実感がある
- ② 地域内のつながりを感じる
- ③ 消防団の活動以外で団員との交流が生まれた
- ④ 消防防災の知識や技術が身に付いた
- ⑤ 国や県、消防協会から表彰を受けた
- ⑥ 特にない
- ⑦ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問7 あなたが消防団に入団してやりがいを感じる活動について、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 消火活動
- ② 災害時の避難誘導
- ③ 火災予防活動
- ④ 住民に対する消防訓練、応急手当等の指導
- ⑤ 行方不明者の捜索
- ⑥ 地域行事での警備活動
- ⑦ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 8 あなたは何歳頃まで消防団員を続けたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 50歳まで
- ② 60歳まで
- ③ 70歳まで
- ④ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

<消防団員のやりがいをもつめる観点の取組について、お伺いします>

問 9 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている（⇒問 10へお進みください。）
- ② 知らない（⇒問 16へお進みください。）

「消防団応援の店」制度とは・・・

地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、消防団を応援していく制度です。県や一部の市町村で実施しています。

※ 県の制度における登録店舗数 : 415 店舗（令和 6 年 7 月 1 日現在）

サービス内容の一例：ドリンク 1 杯無料、料金 5 % 割引、粗品贈呈

問 10 問 9 で「①知っている」を選んだ方にお聞きします。「消防団応援の店」制度を知ったきっかけについて、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 県や市町村のホームページを見て知った
- ② 市町村の担当課から周知された
- ③ 同僚団員から聞いた
- ④ 消防団員カードを見て知った
- ⑤ 店舗等のステッカーを見て知った
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 11 「消防団応援の店」の利用頻度について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ほぼ毎日利用する
- ② 月に数回利用する
- ③ 年に数回利用する
- ④ 利用したことがない（⇒問 13 にお進みください。）

問 12 「消防団応援の店」にメリットを感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 非常に感じる
- ② やや感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 全く感じない

問 13 問 11 で「④利用したことがない」を選んだ方にお聞きします。利用しない理由について、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 近くに応援の店がない
- ② 興味のある業種の店がない
- ③ サービス内容に魅力を感じない
- ④ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 14 「消防団応援の店」について、今後、こんなサービスがあれば良いと思う業種や事業所について、要望があれば御記入ください。(自由記載)

問 15 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

- ① 店頭に掲示するステッカーを目立つものにする。
- ② 店内の掲示で特典サービスの内容を紹介する。
- ③ 各店舗の自社ホームページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。
- ④ 店舗検索サイト内のページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。
- ⑤ 地域情報誌やSNSで告知する。
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 16 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

<消防団員の負担を軽減する観点の取組について、お伺いします>

問 17 消防団へ入団していることで負担になっていることや困っていることについて、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 訓練や行事が多い
- ② 飲み会が多い

- ③ 休日がなくなる
- ④ 家族に負担をかけている
- ⑤ 本業に支障がある
- ⑥ 団員の上下関係
- ⑦ 報酬・手当が少ない
- ⑧ 人手が足りず、辞めたくても辞められない
- ⑨ 特になし
- ⑩ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 18 消防団員として活動する上で、職場の理解は得られていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 理解を得ており、積極的に応援されている
- ② 特に積極的ではないが、理解は得ている
- ③ どちらかという理解がない
- ④ 反対されている
- ⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 19 平日昼間に出勤がかかった場合、あなたは出勤できますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 出勤できる
- ② 出勤できない

問 20 問 19 で「②出勤できない」を選んだ方にお伺いします。出勤できない理由について、当てはまるものを全て選んでください。

- ① 仕事が忙しく出勤できる余裕がないため
- ② 会社や上司の了承を得られないため
- ③ 出勤時間が欠勤または早退扱いとなってしまうため
- ④ 営業など外出中で連絡がつきにくいいため
- ⑤ 勤務先が遠距離のため
- ⑥ 災害時に勤務先に出勤しなければならないため
- ⑦ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 21 国や市町村においては、消防団活動に協力している事業所を顕彰する消防団協力事業所表示制度を導入されており、県ではこれらの企業に入札資格審査における加点措置を実施しています。

このような消防団に協力する企業に対して、講じられることが望ましい施策が何かあれ

ば御記入ください。(自由記載)

問 22 消防団員の負担を軽減しつつ活動を充実させるため、今後新たに活用することが望ましい取組等について、あてはまるものを2つまで選んでください。

- ① 消防団アプリなどDXの導入(災害発生時の情報共有、出動指令、活動報告の迅速化)
- ② ドローンの導入(災害時の避難誘導、被害状況の把握等で活用)
- ③ 消火・救助用資機材の導入
- ④ 新たに活用すべきものはない
- ⑤ その他(具体的に回答用紙に記入してください)

<消防団員の確保に向けた今後の取組について、お伺いします>

問 23 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。

- ① 見たことがある(⇒見たことがあるものを全て選び、回答欄に記入してください。)
  - ア テレビ・ラジオ
  - イ SNS(X、TikTok、インスタグラムなど)
  - ウ 広報誌
  - エ ポスター・リーフレット・のぼり
  - オ イベント等での広報
  - カ その他(具体的に回答用紙に記入してください)
- ② 見たことがない

問 24 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報媒体が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

- ① テレビ・ラジオ
- ② SNS(X、TikTok、インスタグラムなど)
- ③ 広報誌
- ④ ポスター・リーフレット・のぼり
- ⑤ イベント等での広報
- ⑥ タレントやキャラクターを活用した広報
- ⑦ その他(具体的に回答用紙に記入してください)

問 25 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報内容が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

- ① 消防団の役割
- ② 報酬・手当や活動内容
- ③ 消防団へ入団するメリット

- ④ 現役団員の声（やりがい、使命感など）
- ⑤ 学生や女性団員の活動紹介
- ⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）

問 26 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 報酬・手当の増額など処遇を改善する。
- ② 活動内容や訓練回数を減らし、負担を軽くする。
- ③ 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする。
- ④ 消防団員を雇用する事業所等に優遇措置を行う。
- ⑤ 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める。
- ⑥ 消防団員が、新しい技術（DX、ドローン）を災害対応等で活用できるようにする。
- ⑦ 機能別団員や機能別分団など、団員のニーズに応じた活動形態を整備していく。

問 27 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。  
（自由記載）

問 28 消防団について御意見があれば、御記入ください。（自由記載）

質問は終わりです。御協力ありがとうございました。

ここから先は、過去に消防団員だった皆様へお聞きします。

問 1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

- (1) 性別 ① 男性 ② 女性 ③ その他 ④ 答えたくない
- (2) 年齢 ① 20代以下 ② 30代 ③ 40代  
④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代以上
- (3) 職業 ① 会社経営・役員 ② 会社員 ③ 公務員  
④ 団体等職員 ⑤ 農林水産業 ⑥ パート・アルバイト  
⑦ 専業主婦（主夫） ⑧ 学生 ⑨ 無職  
⑩ その他（ ）
- (4) 居住地（市町村名： ）
- (5) 出身地（市町村名： ）

問 2 あなたが消防団に入団していた期間について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 1年未満  
② 1年以上3年未満  
③ 3年以上5年未満  
④ 5年以上10年未満  
⑤ 10年以上20年未満  
⑥ 20年以上30年未満  
⑦ 30年以上

問 3 消防団を退団した理由について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 活動への意欲・やりがいを感じなくなった  
（例）体力が衰え活動に追いつけなくなった、転居先で消防団に入る気が起きなかった、報酬・手当が少ないと感じた、他の消防団員との関係に問題が生じた
- ② 活動に伴う負担が大きくなった  
（例）本業が忙しくなり両立が困難となった、自身の健康上の問題が生じた、家族の状況が変わりケアが必要になった、訓練や行事への参加に負担を感じるようになった
- ③ その他  
（例）転居のため、体験入団期間が終了した、定年に到達したため

問 4 問 3の理由について、具体的に回答用紙に記載してください。



問5 消防団員として長く活動を続けるために必要だと思うことについて、具体的に回答用紙に御記入ください。(自由記載)

問6 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)

質問は終わりです。御協力ありがとうございました。